



# OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION

岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

Tel. Fax058-230-1118, 内線 9552

Email: [kumiai@gifu-u.ac.jp](mailto:kumiai@gifu-u.ac.jp)

HP: <http://www.gifunion.gr.jp>

(岐阜大学 職員組合 検索)



## 紙上討論

組合は変わらなければならない。

現実を直視せず、幻想に囚われ、実現できもしない過激なスローガンを掲げるだけの組合からの脱皮を（文責 伊藤）

機関誌 Open Union では、今後の組合のあり方についての「紙上討論」を計画しています。

一回目は伊藤が問題提起を行います。皆様の議論、反論などをお寄せください。機関紙 Open Union に順次掲載したいと思います。議論が長くなる場合は、機関紙にはその概要だけを掲載し、詳しい議論は再反論とともに、組合のホームページに議論の場を設けて展開したいと思います。

## 概要

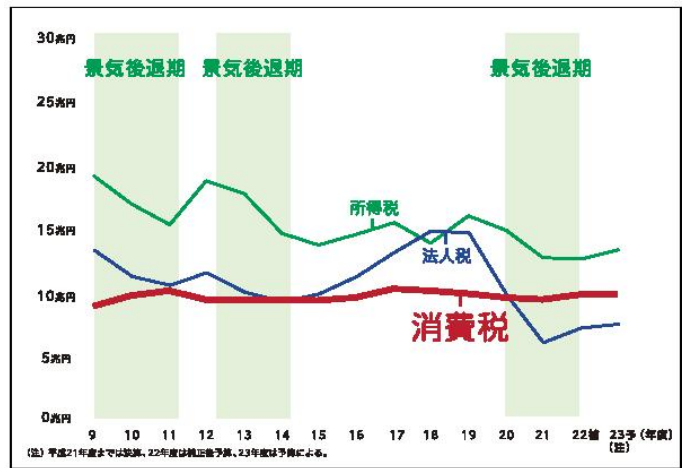
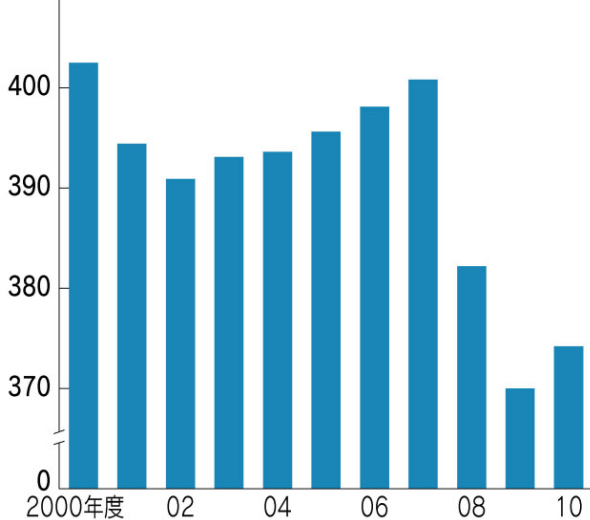
1. 私たちが普通に働けば、今の生活水準を維持できる「当然の権利がある」と考えるのは幻想である。日本の繁栄は（技術水準の優位からもたらされる）周辺国に対する収奪で維持されていた。周辺国の国力が向上してきた以上、日本は過剰な収奪が困難になり、本来の生産性に見合うレベルに生活水準を落とさざるを得ない。
2. 日本の主要政党は、国民の反発を恐れて、生産性を越えた経済・財政運営により、国や地方自治体の借金を積み上げている。本来国民（労働者）の生活を守る立場にあるはずの労働組合も、いずれ自分たち国民がその借金を払わざるを得ないということを直視せず、組合員の反発を恐れて、「物取り主義」とも言うべき無責任な主張を繰り返している。
3. 多くの国民が状況を漠然とでも気づいており、その結果が年金不払い率の増加、既存政党に対する不信感（河村、橋下現象）、過剰なまでの自己防衛行動を招いている。不幸なことは、各利益団体の自己防衛行動が、国全体としての不効率を生みだし、国の生産性をさらに落とすという悪循環を招いていることである。本来国民の生活を守るべき労働組合も、一利益団体として自己の利益に執着するあまり、生産性向上に対する抵抗勢力として行動している。
4. もちろん競争社会では、「正義への誘惑」に負けた利益団体は確実に不利益を被る。したがって、労働組合がその（短期的）利益のために戦うのを放棄することに、短期的メリットはない。にもかかわらず、お互いに勝ち目のない抗争を繰り返すだけでは、それぞれの組織の利益さえ長期的には損なうことになる。
5. 労働組合に必要なことは、最終的には政策実行能力を、もしくは政策決定への影響力を確保すること、そのためには（過半数ではなく）圧倒的な職員を結集すること。その前提として、労働組合は実際に達成可能な「未来ビジョン」を提示する勇気と理論的力を身につけること、さらにその前提として、そのような議論を行える雰囲気や組合・職員内に醸成することである。このような困難な時代だからこそ、我々はその原点、皆で議論して決めていく、という文化に帰らなければならない。

6. 今の日本の現実、多くの「政治家（や）」が美言で約束している以上に厳しい。国・地方の債務残高は（年金資金を含む）国民の金融資産を担保にして積み上げられてきた。国の在世が破綻すれば、年金はもとより、国民の預貯金は無価値となる。しかし、責任を取りたくないという理由で、誰も現実的な政策を議論したがない。このとき、国民の生活を守るべき組合が、一緒になって責任回避の泥仕合をしてはいけない。必ず、「現実」によってしっぺ返しを受ける。
7. 労働組合は真正面から問題と向き合い、現実可能な将来ビジョン作成に向けて議論を開始するとともに、職場の生産性向上に向けてとりくむことで、賃上げ要求に値する職場を作っていく取り組みに積極的に関与しなければならない。

参考データ（データは2010年のものです。11年は確実に悪化していると思います。）

### 1人当たり名目GDP

410 万円



2008年を境に国民一人当たり名目GDPは大きく減少（おそらく11年はさらに減少しているはず）しています。2000年までは2,3位を維持していたのが2008年には19位、G7で最下位になりました。それが円高で2010年度は14位に順位を上げました。2007年と比較すると、円は30%-50%円高になっていますので、ドルベースではGDPが大きく落ち込むことはなかったのです。別の言い方をすると、公務員の賃金は（円で数%しか下がっていませんので）ドルベースでは少なくとも20%以上の賃金上昇があったこととなります。

日本の金融資産は約1400兆円とされています。一方、国の債務は700兆円、地方500兆円、（それ以外にも「隠れ債務」があるのではないかと噂されています）。この差額は200兆円です。現在国は年間40兆円を超える債務を毎年積み上げており、数年でこれを食いつぶす見通しです。現在消費税は年間10兆円しかありません。40兆円の年間赤字を全部消費税で埋めるとすると、25%の消費税が必要となります。法人税は消費税よりも少なく、たとえ法人税を2倍にしても、消費税3%程度の効果しかありません。



組合HPではカラー版でご覧いただけます <http://www.gifunion.gr.jp>

## 入試手当・週休振り替えについて

センター試験などで休日出勤を余儀なくされる人も多いと思います。これらに関する規則類を組合のホームページ（組合資料集=>その他）に纏めました。興味のある方はご覧ください。

入試手当は、昨年度単価などが見直されていますが、全学共通の「ポイント表」に従って配分されます。大学入試センターから支払われる経費がそのまま職員に配布されている訳ではありません。入試手当の金額については、不十分と考えている人も多く、他大学の動向も考えながら増額を要求していく必要があります。

週休日の振り替えは、対象日が含まれる4週間のどこかの出勤日を任命権者が事前に指定します。振り替えが困難な場合は休日給が支払われますが、その判断は任命権者（おおむね部局長）に任されています。実質的には振替日に出勤する人も多く、透明化のためにも、全学で統一した判断基準作りが必要と思われます。

## 産前休暇を8週に

全大教女性部の情報によると、全国の大学で産前休暇8週が導入されつつあります。

当大学では現在6週です。（産後休暇8週）

とくに病院女性職員からは、これまでの組合アンケート等でも切実な声が寄せられていました。

一部部局からの声です。

「病院開院してから17件ほどの妊娠がありました。そのうち75パーセント以上の異常がありました。流産4件、切迫流産8件-早産1件です。異常無し4件。早産は34週で産休に入ったばかりでした。産前休暇8週間は是非欲しいです！」男女共同参画推進の中で、当大学でも積極的に導入されることを願っています。（K）女性職員のみならず、男性職員の方を含めた皆様のご意見をお寄せください。



## 第二回 組合テニス大会

昨年度より始まりました組合テニス大会が、11月26日土曜日に開催され、晩秋の空の下、組合OBを含め9名の参加者が汗を流しました。

今年の大会は、医学部看護学科北に新設されたオムニコートでおこなわれました。足は多少すべるものの、ハードコートよりも足やひざへの負担が少なく、また、クレーコートのようなイレギュラーバウンドもありません。みな一様に楽しく快適に試合ができることの喜びを口にしていました。

参加者の中には、現役時代よくやっていたけれど退職してからはなかなかできなかったというかたもいらっしやいました。世代を超えて交流の場となるのも組合のよいところですね。また、学生時代にはやったことはあるがラケットをにぎるのは久しぶりというかたもいらっしやいました。巧拙を問わず交流できるのもこの大会の特徴です。

昼食をはさみ3時間ほど楽しむことができました。来年は、運動不足のあなたも、学内にスポーツで交流の輪を拡げたいあなたも、ぜひご参加ください。お待ちしております。（文責 山田）

## 寄せ植えとランチ

12/18（土）女性部では年末恒例行事になっている、クリスマス前の寄せ植えとランチ会を行いました。参加された方々の作品と感想を紹介します。



初めて寄せ植えに参加しました。肥料を混ぜることや赤玉土を下に敷くことなど知らなかった事もあり、棒でつついて寄せる技なども・・・一人でやるよりずっと楽しかったです。

## 若手教員忘年会

今年の若手忘年会は、各方面でのスケジュール調整が難しく、日程の変更などもおこないつつ12月22日に開催されました。雨から雪になろうかという不穏な天気でしたが、初参加の方2名を含む全9名が集まり、さまざまな話に花を咲かせました。今年も日頃話す機会のない学部の異なる若手が交流する良い機会となりました（一部は深夜まで交流を深め、その時点で合流したメンバーもいたようです）。

### 新春のつどいご案内

2012年1月25日（水）

17:30～餅つき/教育学部ピロティ

18:00～会食/第一会議室

参加費 500円/子どもさん無料

地図や詳しい案内はチラシまたはHPへ

